**2019年度申請書(大学院留学用)**

**(公財)船井情報科学振興財団**

**Funai Overseas Scholarship**

（西暦）2018年　9月7日

上半身の近影

4.5×3.5cm

（パスポート用サイズ）

を貼る。

公益財団法人　船井情報科学振興財団

理事長　船 井 哲　雄　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| フリガナ　　　ヒラマツ ノブヨシ |  | 男  　女 |
| 氏　　名  　　　　　　　　　　　　　　平松　信義　　　　　　　　印 | 生年月日(西暦)  1995年 1月 6日生 23才 |
| 自宅住所　〒113 - 0023 | | |
| 東京都 文京区 向丘 1-20-6 東大YMCA寮    　　　　　　　　　　　　TEL 080 9876 3205 | | |
| 在籍大学（学部学科・大学院専攻等）、または所属組織等  東京大学　工学科　物理工学科 | | |
| E-mail  japanista.nobuyoshi@gmail.com | | |

下記のとおり、Funai Overseas Scholarshipを申請いたします。

記

|  |
| --- |
| **１.　留学予定期間**  　　　(西暦)  2018 年　9月　から 2023年　8月まで |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **2．志望留学先** | | |
| **大学院** | **専攻** | **希望指導教員（複数可）** |
| 清華大学 | 物理系 物理学専攻 | 于浦(Yu Pu)准教授  翟荟(Zhai Hui)教授  戴明鳳(Tai Ming-Fong)教授 |
| 中国科学技術大学 | 物理学院 物理学専攻 | 潘建偉(Pan Jianwei)教授  陈帅(Chen Shuai)教授 |
| 清華大学 | 材料学院 材料科学専攻 | 李奕賢 (Lee Yi-Hsien) 教授 |
|  |  |  |
| **3．もしあれば先方との交渉の進捗状況** | | |

　枠内に収まらない場合は自由に行数を増やしていただいて結構です。

|  |
| --- |
| **4．留学先における学修（・研究）計画**  **留学先での学修（・研究）テーマを和文、および、英文でご記入下さい。**  **和文：　準粒子からなるボース・アインシュタイン凝縮体の光制御と応用**  **英文：　Optical demonstration of Bose-Einstein condensate and its application**  **学修計画：** |
| **5．留学後の予定・希望**  　私は留学後に光計測技術を基幹技術として低温物理学を中心に、物理学者のコミュニティと社会に貢献したいです。具体的には、中国または日本の大学・研究所または企業における研究員として教育と研究・技術開発に携わることを計画しています。低温物理学の対象はダイナミックに変化・発展していますが、光計測技術は分野において重要であり続けて、留学中に身につけた知識・経験が将来強く生きると考えます。  　また留学後に中国と日本の物理学者のコニュニティの橋渡しをしたいです。中国と日本は科学技術と経済に多大な貢献を続けている二国であることから、これら二国が密に連絡できることには大きな価値があります。また二国は文化的に類似点が多く、地理的にも近いです。新渡戸稲造はアメリカ留学の前に「太平洋の架け橋になりたい」と言いました。僕も彼と同様に、中国と日本を結ぶ「日本海の架け橋」を目指します。 |

　枠内に収まらない場合は自由に行数を増やしていただいて結構です。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **6．学歴（高校以降から記入）・職歴**  学歴   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 富山高等専門学校 | 電気制御システム工学科 | 2010年4月~ 2015年3月 | | Luostrivuori 高校(フィンランド) | 普通科 | 2011年8月~ 2012年6月 | | 東京大学 | 工学部物理工学科 | 2015年4月~2019年3月 | | Rice大学 (研究インターン) | 電気情報工学科 | 2016年8月~2016年9月 |   職歴   |  |  | | --- | --- | | 東京大学生産技術研究所(研修生) | 2015年5月~2018年1月 | | ams AG (半導体センサメーカでのインターン/オーストリア) | 2016年2月~2016年6月 | | 理化学研究所 創発物性科学研究センター(研修生) | 2018年6月~2019年3月 | |
| **7．卒業論文・修士論文**  **卒業論文題目：**  **指導教官（所属、氏名）：東京大学工学部物理工学科**  **論文題目：**  **指導教官（所属、氏名）：** |
| **8．学会発表・論文、成果物等があれば記入**  著者（論文等と同一順）、題名、掲載誌名、巻号頁、発表年（または投稿日、投稿予定日）等を記載すること。  ・査読論文: Nobuyoshi Hiramatsu, Fumiya Kusa, Kotaro Imasaka, Ikki Morichika, Akinobu Takegami, and Satoshi Ashihara, "Propagation length of mid-infrared surface plasmon polaritons on gold: Impact of morphology chnage by thermal annealing," Journal of Applied Physics 120, 173103 (2016).  ・出版済み特許: Harald Etschmaier, Nobuyoshi Hiramatsu, and Olesia Synooka, 2018, "INTEGRATED SMOKE DETECTION DEVICE," European Patent No. EP3319057 (A1).  ・学会発表  　　テーマ: 磁気機能性流体を用いた円管内面マイクロ加工のための磁界解析  　　学会名: 第38回 日本磁気学会学術講演会  　　開催地: 慶應義塾大学日吉キャンパス  　　発表形式: 口頭発表  　　発表日：2014年9月2日  ・学会発表  　　テーマ: 金表面における中赤外プラズモンポラリトンの伝搬長測定  　　学会名: 日本光学会年次学術講演会  　　開催地: 筑波大学東京キャンパス  　　発表形式: ポスター発表  　　発表日：2016年11月1日 |

　枠内に収まらない場合は自由に行数を増やしていただいて結構です。

|  |
| --- |
| **9．語学力**（2項目のいずれかを記入すること）   * TOEFL iBTスコア　　（　　　　）／120点満点 * IELTSなど、TOEFL以外の語学力の検定試験の結果   　　　　　　　試験名：　HSK４級  　　　　　　　スコア：　210点/300点満点 |
| **１0．評価者**（同封の評価書の執筆者3名を記載）  　氏名：  　所属：　　　　　　　　　　　　　　役職：  　氏名：  　所属：　　　　　　　　　　　　　　役職：  　氏名：  　所属：　　　　　　　　　　　　　　役職：  　・評価者が3名未満の場合は、その理由（どの志望留学先が何通の推薦状を求めているか）： |

枠内に収まらない場合は自由に行数を増やしていただいて結構です。

船井情報科学振興財団奨学金応募者に関する評価書

＊本評価書は厳封してから応募者に渡して下さい。

評価者の所属機関 　　　 　　　 研究科・部署等

職 氏名 　 　　 　 　　　(自署)

|  |
| --- |
| 奨学金応募者　氏 名： |
| 応募者との関係はどういうものですか？(複数回答可)  　　□ 卒業研究を指導　　□ 修士課程学生として指導　　□ 講義を担当  　　□ その他（ ）  上記の関係はどの程度の期間ですか？（ ） |
| 応募者の能力について、次の観点から資質を評価してください。  　　　　　　　　　　　　　 上記の関係にあったこれまでの学生（約＿\_\_人）のうち  　　　　　　　　　　　　　 上位10％　 上位25％　 平均以上　　平均以下　 わからない  　・学修(･研究)姿勢・忍耐力　 □　　　　　□　　　　　□　　　　　□　　　　　□  　・専門的知識・技量　　　　　□　　　　　□　　　　　□　　　　　□　　　　　□  　・着想力・創造力　　　　　　□　　　　　□　　　　　□　　　　　□　　　　　□  　・コミュニケーション能力　　□　　　　　□　　　　　□　　　　　□　　　　　□  　・上記を踏まえた総合評価　　□　　　　　□　　　　　□　　　　　□　　　　　□  応募者が出願校へ合格し、その後に学位を取得する可能性について評価してください。  □　間違いなく可能　　　□　可能　　　　　　□　可能性は低い　　□　わからない  応募者の留学終了後の活躍について評価してください。  □　大いに期待できる　　□　期待できる　　　□　本人次第　　　　□　わからない |
| 応募者の能力を示す事例について、応募者の担当内容を明確にして記述してください。  （装置・プログラムの設計・開発など技能・技術に加えて問題解決能力を必要とする課題で成果をあげた事例、データの解釈や解析・実験方法について評価者が感心するほどの新提案をするなど独創性・知的独立性を示す事例、学部生には考えられないほど完成度の高い発表をするなど際立った論理性・表現力を示した事例など） |

　枠内に収まらない場合は自由に行数を増やしていただいて結構です。

Evaluation for Funai Overseas Scholarship

\*Please return this form in a sealed and signed envelope.

Evaluator’s Name 　　　 　　　 　 Title

Affiliation

Date 　　　 　　　 Signature

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Name of Applicant： | | | | | |
| How long and in what capacity have you known the applicant? | | | | | |
| How does this applicant compare with his or her peer group? | | | | | |
|  | Top 10％ | Top 25％ | above average | below average | Inadequate opportunity to observe |
| ・self-motivation/commitment  ・technical knowledge/skills  ・creativity  ・communication skills  ・overall performance | □  □  □  □  □ | □  □  □  □  □ | □  □  □  □  □ | □  □  □  □  □ | □  □  □  □  □ |
| What is your opinion on the likelihood of the applicant being admitted to the program and obtaining the degree?   * Definitely　　 　□　Probably　　　　　　□　Unlikely　　□　No opinion   Do you expect that the applicant will be successful after obtaining the degree?   * High expectation　□　Some expectation　　□　Up to the applicant　□　No opinion | | | | | |
| Please describe any significant accomplishments or actions by the applicant that demonstrate his/her research abilities. | | | | | |